

LMcorsa レースレポート：SUPER GT 公式テスト・鈴鹿サーキット

LM corsa Super GT, Racing Reports 2017 Vol.7
Official Test : SUZUKA CIRCUIT. 2017/06/30-07/01

General comment

AUTOBACS SUPER GT シリーズの今年 4 回目となる公式テストが、6 月 30 日、7 月 1 日に鈴鹿サーキットで開催された。現在シリーズは、5 月 21 日にオートポリスで開催された第 3 戦と 7 月 22、23 日にスポーツランド SUGO で開催される第 4 戦の狭間となっている。

LMcorsa は、今シーズンから新型車両「SYNTIUM LMcorsa RC F GT3」を投入していることもあり、この 2 カ月の期間を利用して 4 回のテストを行いマシンの熟成を進めている。6 月 6、7 日には鈴鹿サーキットで開催されたタイヤテストに参加し、6 月 17、18 日にはスポーツランド SUGO で行われた SUPER GT 合同テストに参加。シリーズ中盤戦以降に向けて、マシンとタイヤのマッチングを確認しながらテストを繰り返してきており、ここまで好感触を得ている。

そして迎えた今回の鈴鹿サーキットにおける公式テストだったが、初日の 6 月 30 日は朝から雨が降るあいにくの天気。サーキットには金曜日にも関わらず朝から多くのお客さんが駆けつけるが、路面は完全なウエットコンディションの中、セッション 1 が午前 9 時 30 分にスタートする。気温 22℃、路面温度 24℃と、8 月 26、27 日に鈴鹿で開催される第 6 戦を想定したテストは厳しい状況に。

だが、レインタイヤをテストする貴重な機会となるため、チームは雨の状況を確認しながらピットイン、ピットアウトを繰り返しながらタイヤの比較評価をしていく。

その状況下、コースアウトを喫したマシンを回収するため赤旗が提示され、約 10 分後に走行再開となるも雨脚が一挙に強くなったためピットで雨の様子を伺うことに。

その後、再び赤旗中断があったものの雨は徐々に小康状態となり、路面コンディションも回復していったためチームはテストプログラムを進めていく。

最終的に、セッション 1 を担当した飯田章は計 21 周を走行して、2 分 11 秒 785 がベストタイムとなった。

セッション 2 スタートとなった午後 1 時 30 分には雨も止み、路面状況もドライ状態へと回復したためチームも本格的に走り込みを開始。ドライブを担当したのは吉本大樹で、ドライタイヤの比較評価のためニュータイヤを投入していき、一時はトップタイムをマーク。

まさに、テストが順調に進んでいることがタイム結果として示されたのである。最終的に吉本は計 56 周を走行し、1 分 59 秒 626 がベストタイムとなり、公式テスト初日の総合順位は 8 位となった。

翌 7 月 1 日の天候は前日と一転して、朝から晴れ間が広がり気温もどんどんと上昇していく。まさに、8 月に開催される鈴鹿 1000 km を思わせるようなコンディションとなり、8 時 30 分にテスト 2 日目の最初となるセッション 3 がスタ

ート。

ドライブを担当したのは飯田で、前日の午後に吉本が取り組んでいたプログラムを引き継ぐ形で周回を重ねていく。そして飯田は、計 42 周を走行してベストタイムは 2 分 01 秒 132 となった。

今回のテストの総仕上げとなるセッション 4 は、セーフティカー訓練を経た後の午後 1 時 25 分にスタート。このセッションは、飯田と吉本の両ドライバーがレースを想定したロングランを行いながら、テストプログラムを進めていく。最終的に飯田が 25 周、吉本が 48 周と 2 人の周回数は計 73 周となり、ベストタイムは吉本がマークした 2 分 01 秒 198 であった。

鈴鹿の公式テストは天気に翻弄された部分もあるが、チームは 2 日間しっかりと走り込むことができ、トラブルフリーでテストプログラムをこなせたことが大きな成果と言える。

なおチームは、この後に富士スピードウェイで開催されるタイヤテストへの参加も予定しており、計 4 回のテストを終えてからスポーツランド SUGO で 7 月 22 日（土）、23 日（日）に開催される第 4 戦に参戦することとなる。

6 月 30 日（金）1 日目総合結果／クラス 8 位

セッション 1 飯田章 2 分 11 秒 785（20 周）／クラス 8 位

セッション 2 吉本大樹 1 分 59 秒 626（56 周）／クラス 8 位

7 月 1 日（土）2 日目総合結果／クラス 16 位

セッション 3 飯田章 2 分 01 秒 132（42 周）／クラス 11 位

セッション 4 吉本大樹 2 分 01 秒 198（48 周）／クラス 11 位

ドライバー／飯田章

今回のテストでは、ウエットとドライの両方の状況下で走ることができたので、チームとしていいデータが取れたと思います。前回の SUGO テストも含め予定していたテストメニューを順調に消化できおり、その結果をうまく積み重ねていることが順位やタイムにも表れてきています。これを今後のレースにうまく活用していき、あとは予選における一発の速さを見つけ出せるように頑張っていきたいと思います。

ドライバー／吉本大樹

今年はここまで雨のテストがなかったので、ウエット状態でも走れることができて良かったです。そして、ドライでも十分に走り込むことができたので、さらにワンステップ上へ行けたと思います。8 月にここで開催される鈴鹿 1000 km に向けても、2 日目の午後にロングランなどを行うなどして色々な部分が見えたテストでした。鈴鹿 1000 km の開催は今年で最後になりますが、僕はそのレースで過去に 3 回勝っていて相性のいいレースなので、最後まで諦めずに自分たちのベストを尽くして挑みたいと思っています。そのためにも、前回、今回のテストともにトラブルなくメニューをこなせたのは、SUGO 以降のレースに向けて大きな成果となるはずです。

監督／小藤純一

天候の変化はありましたが、予定していたメニューは順調にこなすことができ、なかなかできないウエット状況でのタイヤ比較もできたのは大きいと思います。そして初日の午後はドライタイヤで走行できたので予選を想定したメニューをこなし、2日目は決勝を想定したメニューでロングランやセットアップが中心となりました。今回、SUGO以降のレースに向けて決めなければならない項目についてメニューを消化できたのは本当に良かったです。ここまでのテストで蓄積したデータをまとめて組み合わせて、今後のレースに活かしていきたいと思います。